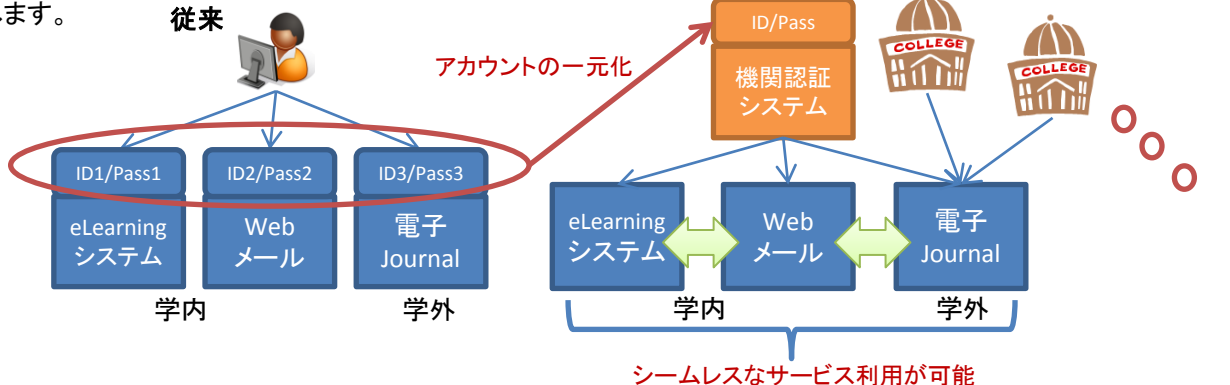


## 学認とは

学術認証フェデレーション(学認)は、Webアプリケーション毎のIDとパスワードを機関認証システムで一元化させ、これを機関単位で分散管理する枠組みを運営していくことにより、学内サービスのみならず、商用電子ジャーナル等も含めた認証のワンストップを実現します。



## 学認によるマッシュアップの実現

利用者は1つのみのアカウントを用いて、1回のみでの認証を行った後、学認に参加している学術コンテンツをシームレスに利用できます。例えば、このようなディープなマッシュアップも可能です。

- 1.論文を探して
- 2.論文を取得して(読んで)
- 3.論文を管理する



学認によるディープなマッシュアップの実現

### 利用可能な学術コンテンツ

- Science Direct / SCOPUS (Elsevier)
- SpringerLink (Springer)
- Web of Knowledge / EndNote (Thomson Reuters)
- OvidSP (Ovid)
- RefWorks / Ebrary(ProQuest)
- Cambridge Journal Online (CUP)
- Pathology Images (Atlases)
- EBSCO host (EBSCO)
- CiNii (NII)

### 接続準備中のコンテンツ

- PierOnline, Serials Solutions, IEEE, Karger
- JSTOR, Taylor&Francis, IOP, PubMed
- 360link&search, Emerald

## 学認の特徴

✓学術コンテンツ以外にも、多様なサービスを提供しています。

- >アカデミック配付 (Microsoft DreamSpark)
- >テレビ会議システム (FaMCUs)
- >無線LANのアカウント発行サービス (Eduroam-Shib)
- >大容量ファイル交換サービス (Fshare)
- >e-Learningシステム (WebELS)

✓学認参加費は無料です。

機関認証システムの構築と運用は参加機関の負担ですが、学認参加費は不要です。

✓技術習得のための講習会を実施しています。

学認は、Shibboleth(シボレス)というモジュールで認証を実現しています。そのため、NIIではShibbolethの講習会を実施しています。

✓情報交換メーリングリストを運用しています。

技術的な情報交換や、講習会の開催案内等を行っています。

## 参加機関募集中！！

学認では、大学などの学術機関や学術コンテンツ等を提供する企業からの参加をお待ちしております。参加方法等は、学認Webで提供しておりますので、ぜひご覧ください。

- 学認Webトップページ <https://www.gakunin.jp>
- 参加方法 <https://www.gakunin.jp/docs/fed/JOIN>
- 講習会等のイベント情報 <https://www.gakunin.jp/docs/fed/event>
- 情報交換メーリングリスト <https://www.gakunin.jp/docs/fed/ml>

総ID数 ≒ 45万ID

大学等の参加状況 (26機関)

- ・国立情報学研究所 ・名古屋大学 ・山形大学 ・千葉大学
- ・京都大学 ・広島大学 ・金沢大学 ・北海道大学 ・筑波大学
- ・佐賀大学 ・山口大学 ・成城大学 ・東邦大学 ・三重大学
- ・日本大学 ・旭川医科大学 ・東京農工大学 ・岡山大学
- ・九州工業大学 ・京都産業大学 ・立教大学 ・九州大学
- ・東京大学 ・明治大学 ・神戸大学 ・信州大学 (参加順)